

議会だより

みなみふらの



第4回町議会定例会を見学する南富良野高校3年生の皆さん（12月14日）

第4回定例会概要	2～3 P
一般質問	4～6 P
臨時会	6～7 P
研修会報告	7 P
議会の動き	8 P

令和4年第4回定例会

令和4年12月14日～16日



令和4年第4回町議会定

例会は、12月14日に招集され、会期を14日から16日までの3日間と決めた後、行政報告、教育行政報告、議会運営委員会報告、総務常任委員会報告があり、2議員による一般質問が行われました。その後、令和3年度各会計歳入歳出決算を認定、引き続き令和4年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算4件、条例の一部改正2件の計7件について審議の結果、原案のとおり可決し、1日目を終了しました。

第3日目の12月16日は、条例の一部改正2件、条例の制定1件について審議の結果、原案のとおり可決した後、固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦について原案のとおり決定し、全ての日程を終え、定例会を終了しました。

令和3年度決算の認定

令和4年第3回定例会で総務常任委員会に付託された令和3年度各会計歳入歳出決算の認定について、11月16日、17日の2日間、歳入財源の確保と歳出経費の執行状況及びその事業効果などを精査した結果、認定すべきと決しました。

条例の制定

○公民館分館の指定管理者制度廃止に伴う関係条例の整理等に関する条例

現在の指定管理者制度を廃止し、各自治会の拠点施設となる自治会館として設置条例を改めるもので、自治会活動に使用する場合は町長の承認を必要としなくなり。また、金山地区コミュニティセンターの機能補完施設として金山地区体育館を設置、北落合除雪管理センターの名称を北落合地区コミュニティセンター

に改めます。

条例の一部改正

○南富良野町自治会活動推進条例

各地区の公民館分館（教育委員会所管）を、自治会館（企画課所管）に移行するものです。

○南富良野町議会議員及び南富良野町長の選挙における選挙活動の公費負担に関する条例

公職選挙法施行令等の改正に伴う公費負担の限度額を増額変更するものです。

○南富良野町税条例等

地方税法等の一部を改正する法律等の交付に伴い改正するもので、給与所得者及び公的年金等受給者の扶養親族申告書の見直し、また住宅ローンの適用期限を令和3年度から令和7年度まで4年間延長するもので、併せて引用条項の整理等を行うものです。

○南富良野町公民館条例

令和5年度から各地区公民館分館が自治会館に変わります！

- 自治会館となることで、所管が教育委員会から企画課になります。
- 指定管理者制度を廃止します。
- 「北落合除雪管理センター」の名称が「北落合地区コミュニティセンター」に変わります。

南富良野町自治会活動推進条例の改正に併せ、公民館制度を見直し、令和5年度より各地区の公民館分館を廃止するものです。

人事案件

○南富良野町固定資産評価審査委員会委員の選任

令和4年12月21日をもって任期満了となる松井正則氏（幾寅63歳）を、引き続き選任したいと同意を求め、議案が町長から提出され、投票採決の結果、賛成多数で原案のとおり同意することに決定しました。

（賛成5・反対0）

○人権擁護委員候補者の推薦

酒井智氏（幾寅55歳）を人権擁護委員候補者として推薦したいと町長から諮問があり、適任と認め答申することに決定しました。

一般会計補正予算の主なもの

- ・地デジ回線増設等修繕料 215万円
- ・ふるさと納税事業費 1768万円
- ・まちづくり応援基金積立金 1500万円
- ・商工業等起業支援事業補助金 200万円
- ・道の駅再編整備に伴う横断歩道新設工事 218万円
- ・観光施設光熱水費 353万円
- ・東幾寅線整備事業に伴う改良工事 248万円
- ・東幾寅線整備事業に伴う舗装工事 229万円
- ・スクールバス修繕料 216万円
- ・小・中学校光熱水費 355万円

・高等学校教育振興会補助金 500万円

・職員給与費

△1127万円

令和4年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	3328万円	45億162万円
国民健康保険事業特別会計	6万円	2億8348万円
後期高齢者医療事業特別会計	—	3861万円
介護保険特別会計	—	3億1376万円
町立診療所事業特別会計	48万円	9252万円
簡易水道事業特別会計	△401万円	1億9430万円
公共下水道事業特別会計	△177万円	1億3587万円
合計	2804万円	55億6016万円

閉会中の継続調査

総務常任委員会では令和4年第3回定例会以降、次の4件について閉会中の継続調査を行いました。

- ・道の駅再編整備について
- ・国設南ふらのスキー場の管理運営について
- ・町発注の工事進捗状況について
- ・議員報酬のあり方について

また、次の4件について、引き続き閉会中の継続調査をすることとしました。

- ・道の駅再編整備について
- ・議員報酬のあり方について
- ・景観整備等について
- ・職員の地域貢献活動に関する兼業について

一般質問 (要旨)

渋谷 浩岐 議員



問 導入の成果、次年度以降の支援に対する町の姿勢について

答 引き続きスマート農業の導入支援に町としても努めていく

① スマート農業導入支援について

渋谷 本町の農業についてはICT技術を活用した先駆的な農業経営が広がりを見せており、本事業がそういった農業者の後押しに一定の効果はあったと思っ

ているが、令和2年度から令和4年度の導入支援事業による今までの成果及び、次年度以降のスマート農業支援に対する町の姿勢について伺う。

町長 令和2年度から今年度までの3年間で、スマート農業技術の導入にかかる経費に対し、25%以内で上限額50万円の助成をしてきたが、その実績として、令和2年度と3年度ではトラクタの自動操舵が14件、農業用ドローンが1件、農業ハウスの自動巻上機が1件で、令和4年度はトラクタの自動操舵が7件、農業ハウスの自動巻上機が1

件となる見込みで、3年間の導入件数は24件、補助金としての支出総額は、1149万3千円となる見込みである。

渋谷 農家戸数が減少していく中、このスマート農業の導入により、担い手が農地を引き継ぎ、農地の集積が図られることも期待される。また生産性の向上や農業従事者の職場環境改善にも支援事業は欠かせないと考えられるので、ぜひともお願いする。



農業用ドローンを使用した薬剤散布

② 鳥獣害防止対策について

渋谷 本町では全ての農用地に対し鳥獣害防止柵(鹿柵)が設置されているが、設置後十数年が経過し、劣化による損傷が目立ってきている。

町長 各地区の鳥獣害防止柵は平成22年から24年にかけて整備が行われ、総延長は約200kmの鹿柵である。管理は条例・規則に基づき、各地区の保全会が修理も含めて行っているが、費用は多面的機能支払交付金及び中山間地域支払交付金を活用いただき、適切に維持管理をしている。防止柵は設置から12年経過しており、特に木柱の腐食が進み、経年劣化によって非常に修繕費がかさんで、小破修繕だけでは維持管理



北落合地区の鳥獣害防止柵は特に傷みが激しい

ができない状況が出てきているということ、早急に更新について考えたい。どのような形で進めていくか、町が直すのか、保全会に負担分のお金を支払い、維持管理と一緒にやっていたかどうかのいいの、いろいろな手法もあると思うので、保全会の皆さんと意見交換をさせていただき、具体的な基本方針と年次計画を立てて、対応していきたい。

もそれなりの年数とお金がかかると思うが、農業経営の安定の観点からも絶対ななくてはならないものだと思うっており、ぜひとも進めていただきたい。

また、昨今の情勢により資材の高騰、人件費の高騰もあり、現在の運営費だけでは資材費だけでも莫大なウエイトを占めてきている。その資材代の補助などの支援も含めて、前向に検討していきたい。

問 町内の空き家に対する行政の対応は

答 実態を調査し、法律に基づき所有者へ指導していく



一般質問（要旨）
中野 博司 議員

① 落合地区の空き家について

中野 落合地区では町内でも空き家が大変多く、特に国道沿いで目立っている。個人の財産であることは十分承知しているが、ゴーストタウンのようで大変見苦しく、行政として所有者を捜して何か対応することはできないのか伺う。

町長 空き家問題については全町的にある課題だと認識している。町としては法律に基づいて所有者が分かるものに対しては、空き家の適正な管理をしてほしいと通知をしたり、解体撤去費の助成制度についてお知らせするなどしている。

中野 解体費を町の助成とともに、所有者の負担軽減を考えて、町内の建設業協会の力を借りることで安くできないのか協議をしてみたい。

町長 地元建設業の方々が、地域貢献といったような認識を持ちながら協力しようとする主体的になってくれるのであれば、それは否定するものではないが、町からのアプローチというのは慎重にさせていただかなければいけないという感触を持っている。

今後の対応として、まずは町内の空き家の実態調査を行い現況把握をした上で、法律に基づき空き家所有者への適切な指導を強化して、一件でも多くこういった課題を改善するよう努力して

緊急避難的に、地域の衛生上や生活環境上、どうか処理しなければならぬが、どうしても個人ができない、そこを何とか行政でということ、解体したこ

ともあったのは事実。やはりケース・バイ・ケースで、行政と議会の判断の中で対応していくことは出てくると思うが、限度はあると思う。

中野 実態調査の結果や、その対応などについては、機会があれば質問させてもらうが、検討についてはよろしく願います。



②カーリング施設の今後について

中野 カーリングについては、これまで落合地区から3名のオリンピック選手が輩出されている。今後の南富良野高校の生徒募集を行っていく上でもカーリング場は欠かせないと思うが、次の2点について伺う。

①フロンガス規制により、今後何年程度、現状維持できるのか、またその後の対応について。

②カーリングの競技人口が増え、今の2つのレーンでは練習時間が取れないという実態がある。高校生との車座ミーティングでも要望があったと聞いているが、今後レーンの増設やカーリング場の新設についての考えはあるのか。

教育長 ①現在、冷却装置の媒体として使用しているフロンガスについては、2019年から生産は中止さ

れているが、使用に関する制限は今のところなく、現在補充用としてストックしているフロンガスが90kgほど残っており、現在の状態が維持できれば、10年程度は可能であると考えている。

②現状の施設だとか、設備の耐用年数など、総合的に判断すると、既存の建物を増築してレーンを増設することは課題が大きいと考えている。教育委員会としては、高校部活動等の練習環境の充実、冬期間における町民の健康増進の場として必要な施設であると考えており、現在策定中の第6次総合計画において、具体的な整備の方針を固めていきたい。

中野 今後、高校の耐震化や道の駅再編整備など、町の財政がますます厳しくなると思うが、高校の生徒募集にもカーリングは重要な募集要因となっている一面から、カーリング場の整備

は、行政として一段と力を入れて取り組んでいただきたい。



落合木工場の跡活用から始まった
空知川スポーツリンクス・カーリング場

令和4年第5回
臨時会
11月10日

令和4年第5回臨時会は11月10日に招集され、提案された議案を原案のとおり可決し閉会しました。

■令和4年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5274万円を追加し、歳入歳出予算の総額を44億6835万円とするものです。

■議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会議員の期末手当の支給率を100分の10引き上げる改正です。

■南富良野町長等の給与に関する条例の一部改正

町長等の期末手当の支給率を100分の10引き上げ

る改正です。

■南富良野町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、若年層の給料表の改定及び、勤勉手当の支給率を一般職員で100分の10、再任用職員で100分の5引き上げる改正です。

■教育委員会教育長の任命

令和4年11月15日をもって前任者の残任期間が終了する鈴木誠氏を、引き続き任命したいと同意を求め、議案が町長から提案され、投票採決の結果、賛成多数で原案のとおり同意することに決定しました。

(賛成5・反対0)

■議員辞職について

阿部修一議員より辞職を求める願いが11月2日付けで提出され、本臨時会において辞職を許可しました。

この辞職に伴い、議員数が8名から7名になりました。(補欠選挙等は公職選挙法の規定により行われませ

ん)

議員の辞職に伴い、欠員が生じた副議長及び富良野

広域連合議会議員については本臨時会において指名推薦による選挙、総務常任委員会副委員長については同日開催の委員会において互選が行われました。

○副議長

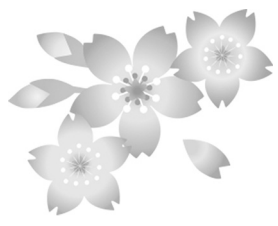
酒井 年夫

○総務常任委員会副委員長

渋谷 浩岐

○富良野広域連合議会議員

渋谷 浩岐



富良野沿線市町村議会議員研修会参加報告

富良野沿線市町村議会議長の主催による議員研修会が12月20日に中富良野町農村環境改善センターで開催され、富良野沿線5市町村から議員及び事務局職員ほか総勢69名(当議会からは

らに第四次安倍内閣の令和元年9月からの2年間は経済産業副大臣秘書官を務めるなど、国内外において政治・経済・産業と幅広い分野で活躍しており、現在は北海道庁に出席してゼロカーボンの推進に力を入れている。

よって「データセンター」の北海道誘致が可能となることや、食料自給率アップ、道有林など森林クレジットの創出によるCO2吸収、住宅の断熱性向上や事業所の省エネなど、国と連携した「ゼロカーボン北海道」の取組が北海道の経済活性化に繋がると語った。

(遠藤 謙一)

議員4名、職員2名)が参加して、北海道環境生活部次長兼ゼロカーボン推進局地域脱炭素担当局長の甲元信宏氏による「ゼロカーボン北海道について」と題した講演を拝聴し、脱炭素に向け研鑽を積んだ。

甲元氏は東大を卒業後経産省に入省し、ロボット政

策や国産旅客機「MRJ」事業に携わる傍ら、米国・英国・中国などに留学。また、

資源エネルギー庁において原発の輸出・国際協力に従事

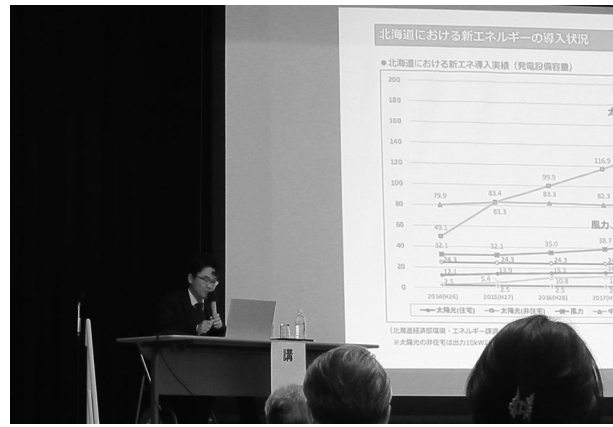
後、外務省在中国日本国大使館一等書記官として日中

経済関係の改善に努め、さ

らに第四次安倍内閣の令和元年9月からの2年間は経済産業副大臣秘書官を務めるなど、国内外において政治・経済・産業と幅広い分野で活躍しており、現在は北海道庁に出席してゼロカーボンの推進に力を入れている。

甲元氏は、北海道における再生可能エネルギー導入ポテンシャルは全国トップクラスであると話す。太陽光、風力、水力、地熱、並びに木質や畜産バイオマスといった再生可能エネルギーの中でも、特に北海道にあつては「洋上風力発電」の推進が最有力で、それに伴う海底送電ケーブル(光海底ケーブル)の整備強化に

らに第四次安倍内閣の令和元年9月からの2年間は経済産業副大臣秘書官を務めるなど、国内外において政治・経済・産業と幅広い分野で活躍しており、現在は北海道庁に出席してゼロカーボンの推進に力を入れている。



甲元信宏氏による講演

議会の動き

令和4年11月～令和5年1月

- 11月3日 ○南富良野町功労者表彰式
- 10日 ○南富良野町議会第5回臨時会
 - 議会運営委員会
 - 全員協議会
 - 総務常任委員会
- 12日 ○南富良野町防犯と交通安全の住民集会
- 16日 ○総務常任委員会
 - 全員協議会
- 17日 ○総務常任委員会
- 18日 ○副議長就任挨拶回り（町内）
- 30日 ○総務常任委員会
 - 全員協議会
- 12月8日 ○議会運営委員会
- 14日 ○南富良野町議会第4回定例会
- ～16日 ○議会運営委員会
 - 全員協議会
 - 総務常任委員会
 - 議会広報特別委員会

- 12月20日 ○富良野沿線市町村議会議員研修会（中富良野町）
- 23日 ○南富良野町商工会会長他来局（令和5年度市町村補助金に関する要請）



- 23日 ○中富良野町議会石神議長のご母堂様逝去に伴う通夜焼香（富良野市）
- 1月4日 ○南富良野消防出初式
- 8日 ○南富良野町二十歳を祝う会
- 14日 ○富良野市議会黒岩議長のご岳母様逝去に伴う通夜焼香（富良野市）
- 20日 ○商工会永年勤続優良従業員表彰式並びに会員新年会

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会が年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。

議会の傍聴は町政の運営状況や議員の活動状況を知るよい機会です。

定例会では議案審議のほかにも、議員が行政に質問をする「一般質問」も行われます。

お気軽にお越しください。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会の開催予定は 3月9日（木）～17日（金）です。

会議中継映像をインターネット（ユーチューブ）で動画配信しています。生中継と録画配信をしており、いつでも視聴できますので、ぜひご覧ください。



※ 録画配信されるまでに時間がかかる場合があります。



← 定例会等の日程や議会だよりなども町のホームページからご覧いただけます。
<http://www.town.minamifurano.hokkaido.jp>